

生まれかわる夏のCAI研修会

(東原 義訓)

今年も、夏のCAI研修会のお知らせをする時期になりました。コンピュータの中学校への導入がほぼ完了し、研修会へのニーズがこれまでとは随分違ってきました。ECO Newsでは、これに対応できるように、次に紹介する3種類の研修会を企画しました。また、全国各地域で開催される地域研修会の内容についても、現在のニーズにあったものとなるよう、各地の企画立案者と連絡調整をしているところです。もちろん、いずれも、スタディシリーズや情報基礎に関連する研修会です。

1. CAIインストラクター研修会7月24～26日(栃木県シャープ矢板研修所)

全国各地で行われる地域研修会の企画・運営・指導にあたる方々を対象とした研修会です。この研修会に参加することにより、その地域で行われる研修会が、ECO Newsの地域研修会と認定され、講師がECO Newsから派遣されます。講師のための旅費、謝金はECO Newsの負担です。また、インストラクター研修会への参加費もECO Newsが負担いたします。

この研修会への参加資格は、これまでに筑波大学が関係して行われたCAI関連の研修会(地域研修会、中央研修会、筑波大学での研修など)に参加していること、地域での研修会を今年度中に計画していることです。

参加希望者は、電話、FAX、パソコン通信、郵便などにより、ECO News係にご連絡下さい。案内書をお送りします。なお、参加申込みの締め切りは5月31日です。

2. CAI中央研修会8月1～3日(栃木県シャープ矢板研修所)

今年の「CAI中央研修会」では、Aコース〔コースウェアの利用〕と、Bコース〔コースウェアの作成〕の二つのコースを用意しました。「より満足できるCAI授業をめざしたい人」はAコースで、「コースウェアを作成してみたい人」はBコースで、それぞれ体験を通して研修していただきます。どちらも初心者を対象としています。

児童生徒のためにコンピュータを使ってみたいと考えている方なら、コンピュータに関する経験は問

いません。ただし、コンピュータ操作の研修会ではありません。

参加を希望される方は、同封の案内をご覧ください、申込書に記入のうえ、5月31日(消印有効)までに返送願います。

3. コースレベルアップ研修会8月9～11日(長野県更埴市大池自然の家)

今年度からスタートした新しいタイプの研修会です。開催場所は、標高800mの涼しい長野県の高原です。高速道路がこの3月に開通し、アクセスも容易です。

さて、コンピュータの導入が急速に進んでいます。良質のコースウェアは依然として十分な量とは言えません。しかし、もうちょっとといったものは、皆様方のご努力により多数見られるようになりました。スタディライターを用いて、これまでに開発されたコースウェアは800本ほどですが、ECO Newsで紹介されているものは、その約10%にすぎません。

ECO News係では、更埴市教育委員会のご協力を得て、学校で実際に使用できる良質なコースウェアを倍増させるための研修会を企画しました。

本研修会では、日本全国から参加希望者を募り、ほぼ完成している自作コースウェアをチェックし、改良点を検討し、他校でも利用できるように整えることを行います。作業は、ECO Newsのスタッフも一緒になって行います。研修会の成果は、ECO Newsの相互利用コースウェアが倍増するという、全国から期待される企画です。

作成中のコースウェアを持って、長野県の涼しい高原の研修会場へお集まり下さい。改良されたあなたのコースウェアが、ECO Newsで紹介され、日本全国で使われることとなります。いつもとちがって優しい(?)インストラクターがお待ちしています。参加費は、ECO News負担です。また、旅費の一部の補助も計画中です。

参加申込書、あるいは、あのコースウェアをぜひ完成させてほしいといった推薦書(開発者名、コース名、推薦理由など)を、さっそく、ECO News係まで送って下さい。

参加を希望される方は、同封の案内をご覧ください、申込書に記入のうえ、6月10日（消印有効）までに返送願います。

その他の研修会

ECOnews主催の研修会の他、全国各地でスタディシリーズ関連の研修会が計画されています。これまでに、ご連絡いただいた各地の研修会の予定表を掲載しました。詳しい案内は、各地の連絡先に申し込んで下さい。（注意、以下の予定には変更があります。詳細は連絡先にお問い合わせ下さい。）

磐田市研修会

日程：7月22～23日（CAI教材の活用1）

8月5日（CAI教材の活用2）

会場：静岡県磐田市第一中学校

連絡先：太田（教育委員会） TEL 0538-32-4315

備考：2回の連続ものです。両方に参加して下さい。

丹有CAI研修会

日程：7月30～31日

会場：兵庫県氷上郡（予定）

連絡先：芦田（西紀中学校）

TEL 0795-93-0032

FAX 0795-93-0041

新野高原CAI夏期合同研修会

日程：8月2～4日

会場：長野県新野小学校

連絡先：中島（新野小） TEL 0260-24-2150

呉市研修会 -CAI教材の活用-

日程：8月2～3日

会場：広島県呉市辰川小

連絡先：西岡（教育委員会）

TEL 0823-25-3458

FAX 0823-24-9807

つくば市CAI研修会

日程：8月4～6日

会場：栃木県矢板シャープ研修所

連絡先：柿沼（竹園東中）

TEL 0298-51-3467

FAX 0298-51-2385

備考：つくば市教員対象

コースウェア作成研修会

日程：8月5～6日

会場：愛知県豊田市教職員会館

連絡先：上田（四郷小）

TEL 0565-45-2283

FAX 0565-46-0693

神戸市CAI研修会

日程：8月9～10日

会場：兵庫県神戸市総合教育センター

連絡先：岡本（南落合小学校）

TEL 078-792-5244

FAX 078-792-5245

備考：神戸市内教諭対象

中津市研修会-CAIの利用方法-

日程：8月18～19日

会場：大分県中津市内

連絡先：長松（教育委員会）

TEL 0979-22-1111

FAX 0979-24-7522

東海市第3回CAIセミナー

日程：8月20～22日

会場：愛知県東海市

大木（富木島中）

TEL 052-603-2355

FAX 052-603-2356

福井市研修会-CAI教材の活用-

日程：8月23～24日

会場：福井県教育研究所

連絡先：乾（福井市教育委員会）

TEL 0776-20-5350

FAX 0776-20-5344

大野市CAI研修会

日程：8月25～26日

会場：福井県大野市六呂師青少年の家

連絡先：脇本（陽明中）

TEL 0779-65-1121

取手市CAI研修会

日程：8月25～26日

会場：茨城県取手市（市内中学校の予定）

連絡先：浅野（教育委員会）

TEL 0297-74-2141

FAX 0297-73-5995

備考：取手市内教諭対象

鹿行地区研修会-CAI教材の活用-

日程：調整中

会場：茨城県鹿島町の中学校

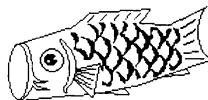
連絡先：田口（鹿島教育委員会）

TEL 0299-82-2911

FAX 0299-83-7894

筑波大学公開講座の

追加開催のお知らせ



7月10・11日に開催される『平成5年度筑波大学公開講座「様々な教科におけるコンピュータ利用」』には、4月末日で、すでに、90名を越える申込みがありました。締め切り日には、まだ間がありますが、募集を打ち切らざるを得ません。

そこで、今回の講座に参加できなかった方々のため、9月以降に全く同じ内容の講座を実施できるように準備を開始しました。講座の開催時期は、皆さんの都合のよい時期に合わせたいと考えています。ご希望の時期をお知らせ下さい。

【おわび】先にお送りした公開講座の案内の中で、申込先の電話番号が間違っておりました。正しい番号は、0298-53-2216・2217です。

あなたは、授業をしていて次のように思ったことがありますか？

- ◎生徒間の相互啓発を大切にしたい。
- ◎生徒に皆で使える情報バンクを作らせたい。
- ◎一人一人に自分の考えを表現させてやりたい。
- ◎いろいろな見方・考え方に触れさせたい。

ECONewsでは、3年ほど前から『スタディ・ノート』と呼ぶ新しいタイプの教育ソフトを開発してきました。このソフトは、校内情報ネットワークに接続されたコンピュータを用いて、上記のような思いを実現しようとするものです。

このソフトは、まだ試作段階のものです。茨城県の竹園東小学校や長野県の豊野中学校で試験的に使われ始めています。これから何回かに分けて、このソフトの基本的な考え、動作環境、授業例、今後の展開などを紹介していきたいと思えます。

1. 学校のLANをもっと活用しよう！

教育用コンピュータを導入する学校の殆どが、校内ネットワーク（LAN）を併せて導入するようになってきました。学校でのLANの使われ方は、現

在のところ、生徒の学習状況をモニタリングしたり、生徒機へ学習ソフトを一斉転送することに限られています。しかし、LANには、他にもいろいろ有効な使い道があります。

例えば、大学では、文科系・理科系を問わず教員や学生たちが、研究や教育に関する情報を交換・共有したり、一般に公開するため、LANを利用し始めています。この傾向は、米国で特に顕著で、哲学や法律といった一見、コンピュータと無縁の分野の研究者ですら、LANに繋がれたコンピュータをこのような方法で研究の道具として活用しています。

スタディ・ノートは、小中高等学校の生徒たちでも、コンピュータを学習情報の交換や共有・蓄積の道具として役立てられるようにするものです。

最近、ネットワークに繋がれたコンピュータを、複数の人が行う知的共同作業の支援のために活用しようとする考え方が注目を集めています。このようなコンピュータの使い方をCSCW(Computer Supported Cooperative Work)といい、そのためのソフトウェアをグループウェアといいます。スタディ・ノートは、学校用のグループウェアなのです。

国際環境教育シンポジウム開催のお知らせ

日本における環境教育の今後の発展に役立てるため、下記のような日程で「環境教育国際シンポジウム」を開催することになりました。

ECONewsのメンバーにふるって参加していただくために、特別参加費の枠を設定しました。世界の指導者が一堂に会する機会は、これまでもありませんでしたし、今後も可能性はあまりないのではないかと思います。ぜひ、メンバーの皆様のご参加をお待ちしています。皆様の近くにいる人々にも、ご紹介下さり、多数の方が参加されることを期待しています。

シンポジウムには、完全な同時通訳がつきます。ですから、英語が苦手な方も安心して参加できます。

期日：1993年8月21日（土）～8月22日（日）

会場：筑波大学大学会館（つくば市天王台1-1-1）

主催：「国際環境教育シンポジウム」準備委員会

後援：日本科学教育学会，日本環境教育学会，筑波大学，その他

日程：両日ともシンポジウムは、午前10時より午後5時まで。22日には、午後6時より懇親会を開催。

講演予定者：ミル・アッチャ（UNEP, IEEP代表），ヴェーラ（UNESCO代表），ゲルハート・シェファー（ヨーロッパ科学教育学会長，独），ピーター・ケリー（国定カリキュラム委員会委員長，英），セブ・マッケンレー（BSCS委員長，米）他

連絡先：0298-53-2450（中山）またはECONews係
参加費：一般7,000円，ECONews会員5,000円



★コースの利用報告書を提出しましたか？

寄託コースの配布は、ECONewsの最初の号で書かれているように、互助の精神にもとづいて行なわれています。もらうだけ、もらっておいて、何にもしないというのでは悲しすぎます。もし、まだだしたら、今すぐ報告書を書いて郵送してください。

★継続登録はお済みですか？

寄託コースの配布を受けながら、継続登録の申請をされていない学校が全体の4分の1もあります。コースの配布が受けられなくなりますよ！

★異動で担当者が変わった学校へ

継続登録の申請用紙を使って、担当者が変わったことを報告して下さい。ECONewsが届かなくなります。



HP 便り (ID:HGE02365 パワード:ECO)

ECO News のパソコン通信HPへ寄せられた皆さんのメッセージを紹介します。

筑波大学学術情報処理センターへは、毎日のように全国各地から、さまざまな校種・教科の先生がたが、いろいろなテーマを持って研修に見えています。その中には、研修期間が長期におよぶ内地留学生もいます。今回は、内地留学を希望する方の問い合わせに、現役の内留生やOBたちから寄せられた情報を紹介します。

■125 93/01/20 MATSUNAMI 体験談

私は、本年度上半期(4~9月)まで、中山教授の研究室に内地留学していました。私の場合は熊本でしたので、半年間単身赴任でした。私を含め内留生たちは皆、それぞれにアパートを探し、それぞれ寝るために帰っていました。(^^;) 自宅からの2時間以上の通勤(通学)は、はっきり申し上げて無理かと思えます。夜も遅くなることがしばしば、いえ、早くなることがめったにありませんから。つくばに居を構え、時々自宅に帰られるのが良いかと思えます。6カ月間でも、本当に充実した研修が出来ることは、太鼓判を押します。内留が実現するといいいですね。

■126 93/01/21 HORIKOSI 内留の生活について

私は、1年間ということ、ここ筑波大学にお世話になっております。ここへ来て一番強く感じたことは、目的を明確にもっていることが大事だということです。もちろん、ここでは自分の目的に沿って勉強するばかりでなく、CAIの研修にやってくる方への説明の仕方から、研修会の運営まで、幅広く教えていただくことも盛りだくさんにあり、更に一般社会人としての基礎知識まで勉強になります。しかし、それに加え、こ

れだけはやり遂げていくというものを一つ持っていることが、毎日をより充実したものにします。

ここでの生活を理解していただくため、私の1月19日(火)の様子を簡単に紹介してみようと思います。

午前：竹園東中学校で、短期研修に来られた先生といっしょに授業参観

午後：自分の研究(コースウェアの作成)と短期研修の先生方にネットワーク関係の説明

夜：自分の研究(コースウェアの作成)

帰宅は午前0時半でした。こんな生活がずっと続きます。

参考になったでしょうか。そんなふうですから、松並先生も書いてらしたように、こちらにアパートを借りる方がよいかと思えます。長期休業中(夏休み)は、全国で開かれるCAIの研修会に出席して研修を深めることになっています。いろいろ書きましたが、この研究室は本当に研修という2文字にふさわしい内留生活が送れます。がんばって下さい。

■128 93/01/24 Narita 内留の手続きについて

内地留学生になるために必要な筑波大学への手続きについてお知らせします。

「筑波大学研究生の出願について」という書類が大学の学務部に用意されていますので、まずこれを取り寄せてください。その中に案内と必要な書類が入っています。大学への提出書類は以下のものです。①研究生入学願書 ②指導教官の内諾書 ③最終出身学校の卒業証明書および成績証明書 ④健康診断書 ⑤研究生入学志願票 ⑥教育委員会からの「派遣依頼書」 ⑦返信用封筒

入学時期は、原則として4月、8月、12月となっていますが、これについては特に問題はないようです。今年度も、4月、5月、6月、9月、10月と様々でした。

中山教授研究室へ内地留学を希望されてる方は、大学への手続き、アパート探しなど、お気軽に内地留学生室(Tel.0298-53-2464)までお問い合わせください。

STUDYSERIES ニュース No.13 5/13

■スタディ・シリーズとファイル・サーバー

最近、スタディ・シリーズを、ファイル・サーバーと組み合わせて導入する学校が増えています。ファイル・サーバーとは、大容量のハードディスクを内蔵したコンピュータで、先生用や生徒用コンピュータとネットワークで接続して使うものです。新しいスタディ・シリーズは、このファイル・サーバーと組み合わせると、さらに便利に使えます。

1. 普通の授業で便利

先生用コンピュータのハードディスクと同じ様に利用することができます。ですから、教材(コースウェア)を大量にファイルサーバーに保管しておき、手軽に教師用コンピュータの画面の中から選択

して、授業に利用できるようになります。

2. 自習時や放課後の利用でも便利

自習時や放課後など、生徒一人ひとりにそれぞれ教材を選択して学習させたいとき、今までは個々の学習者用コンピュータに、教材フロッピーを用意する必要がありましたが、その必要がなくなります。

画面に表示されるサーバー上の教材メニューから好きなものを選んで学習できるのです。

新たにコンピュータの導入を検討している学校の皆さん、スタディ・シリーズに加えて、ファイル・サーバーの導入も考えてみてはいかがでしょうか。

連絡先

〒305 つくば市天王台1-1-1 筑波大学
学術情報処理センター4F ECO News係
Tel: 0298-53-2454 Fax: 0298-53-2983